

支部内大会マニュアル

①第1試合対戦チームは試合開始 1 時間前までに試合会場に到着すること。

ただし運営作業を行う者は1時間半前に到着すること。

（代表及び代理の副代表・保護者）

代表または代理の副代表は資格審査等運営作業にあたる。また父兄はグラウンド造り及び整備を行う。

※基本的に当会場で予定されている試合の全ての当該チーム代表（代理含む）は運営役員であることに鑑み、不測の事態に協力して対処すべく努めて当日の全試合の運営に携われるよう行動をお願いしたいので第 1 試合開始 1 時間半前にお集まりください。

※到着時間は球場開門時刻により変更有

第2試合以降も開始予定時間の1時間前に到着すること。（指導者・選手・MG）

また試合開始時刻は予定時刻より基本30分以上早めない。

②第1試合の両チームにてグラウンド造り及び整備を行う。

（公営球場、持ちグラウンドを問わず）

③組合せの若番チームが1塁ベンチ、後番が3塁ベンチとする。

（公営球場、持ちグラウンドを問わず）

④原則、1塁ベンチチームが本部接待担当、3塁ベンチチームが放送・記録を担当。

（持ちグラウンドの場合、球場責任者の指示により変更可）

※持ち球場に限らず球場責任者の指示により変更可

※また都合により担当職を変更する場合は事前に当該チームに連絡確認のこと

⑤速報担当者は原則放送・記録担当チーム（3塁側）の代表が行う。

※球場責任者が該当する場合は変更可

⑥資格審査は対戦チームの代表が行う。審査終了後速やかにメンバー表（5部）を提出。（本部挨拶は審査時に行う）

⑦コイントスの際は球場責任者及び審判員が立ち会い、投球制限の確認を行う。

⑧シートノック有りの場合、後攻チームより行う。時間は5分間。

またノック中は両チームブルペン使用可。

ただしグラウンド内ブルペンの場合、補助員を置くこと。

⑨ノック終了後、両チームの選手はダイヤモンド内の整備、1塁側のチーム保護者4名でホームベース周りの整備及びライン引きを行う。

（保護者4名以上グラウンドに出ないこと）

⑩4回終了時グラウンド整備が有る場合、3塁側のチームの保護者4名でホームベース周りの整備及びライン引きを行う。

（保護者4名以上グラウンドに出ないこと）

またダイヤモンド内のグラウンド整備を両チーム選手で行う。

※熱中症対策時期は代表、両チーム保護者で行う

⑪チーム責任者は投球回数管理表（規定の様式）を必ず記載のこと。

⑫試合終了後、両チームの選手で速やかにグラウンド整備を行う。

またシートノックがある場合はホームベース周りの整備はシートノック後に次戦の1塁側チーム保護者4名で行う。

※シートノック前にホームベース周りのライン引きはしない

シートノックが無い場合は今まで通り試合終了後に次戦の1塁側チーム保護者4名でホームベース周りの整備を行う。

⑬試合終了後、勝利チーム責任者は投球回数管理表を大会本部へ持参、球場責任者と投球回数を照合確認し、球場責任者が投手投球回数記録表（正）を作成する。

チーム責任者は投手投球回数記録表（正）を確認後、投手投球回数記録表（副）3部を作成し（正）を受け取り、次の試合会場へ持参提出する。

（次試合球場にてメンバー表と共に投手投球回数記録表（正・副）を提出のこと
補足→翌日次戦がない場合は提出しない

⑭代表が試合当日欠席の場合は、代理を出しその旨を球場責任者へ連絡する。

（代表代理はチーム責任者との併用不可）

⑮全試合終了後、最終試合2チームにてグラウンド整備・球場清掃を行う。

（球場責任者代表、両チーム代表は確認後帰宅のこと）

⑯ボールボーイは原則内野1～2名を置くこと。ただし資格審査時にファールボールの対応を早くするよう声がけすること。（外野のボールボーイは置かない）

⑰次戦チームのブルペン使用は禁止とする。